

令和2年度 立川市立立川第六中学校『学校経営計画』

校長 加藤 隆司

立川市教育委員会 教育目標 (平成27年11月16日議決)

- 生きる力をはぐくみ、確かな力、やさしい心、個を輝かせ、社会のために役立とうとするひとづくり
- いつでも、どこでも、だれでも自由に学べるひとづくり
- いきいき健康、生涯スポーツを目指すひとづくり
- 歴史や伝統文化を継承し発展させるひとづくり
- 国際社会で主体的に貢献し活躍するひとづくり

立川市教育委員会 平成31年度「学校教育の指針」(案) (平成30年12月14日)

- I 学校教育の充実
～「知」・「徳」・「体」の調和のとれた総合的な力を育む～
- II 教育支援と教育環境の充実
～質の高い学びを提供するために、個に応じた教育支援を推進し、充実した教育環境を整備する～
- III 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上
～学校、家庭、地域が一体となって子どもの教育に取り組む～

立川市立立川第六中学校 教育目標

知徳体のバランスの取れた生徒の育成、正しい判断で主体的に行動のとれる生徒の育成、個性と想像力にあふれ、勤労の目的を自覚し、意欲的に取り組める生徒の育成を目指して、以下の目標を設定する。

- ◎自ら進んで学ぶ人
- 健康で心豊かな人 ○責任を果たす人

〔教育基本法 第2条第1号〕幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。(知・徳・体のバランス)

〔学習指導要領〕(現行)

- ・教育基本法改正等で明確となった教育の理念を踏まえ、「生きる力」を育成する
- ・知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視する
- ・道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成する

〔学校教育法 第30条第2項〕【学力】①基礎的・基本的な知識・技能の習得 ②思考力・判断力・表現力その他の能力の育成 ③主体的に学習に取り組む態度の育成

経営理念 学校や地域の伝統を誇りに思い、主体的に学習や諸活動に取り組む生徒の育成

【目指す学校像】六中生としての誇りを自覚できる学校

- ①互いの人権を尊重し、信頼の元に支え励ましあって、夢に向かって努力できる学校。
- ②生徒が学習・生活に全力で打ち込み「わからない」をそのままにしない学校。
- ③楽しさと生きがいを持てる、満足度の高い学校。
- ④保護者・地域に信頼される学校。
- ⑤課題解決に向け組織的に取り組む学校

【目指す生徒像】

六中生であることに誇りを持ち、規律を守り主体的に活動する生徒

- ①六中生であることに誇りを持ち、高い目標に向けて主体的に学習・生活に取り組む生徒
- ②自他の良さを認め合い互いに励まし高めあうことのできる生徒
- ③社会のために役立とうとする意識をもち社会性を身に付けた生徒

教育活動の目標と方策

《今年度の重点》基礎基本の学力の定着を図り、学ぶ意欲と確かな学力を持った生徒の育成。
人権尊重教育の推進を図り、自尊感情の育成とともに自他の生命尊重、思いやりの心を持つ生徒の育成

学力の向上 (校内研究の推進)

- ① 主体的で深い学びを促す授業の工夫
生徒自身が「見通し」をもち「振り返り」を行うとともに、アクティブラーニングを取り入れ「伝え合い、支え合い、学び合う」**能動的、対話的、協働的な学習**を重視した授業の推進。課題発見、解決を意識し、**生徒が主体的に取り組む学習課題の設定や発問の工夫による深い学びの促進**
- ②思考力・判断力・表現力等の育成
- ③**主体的に学習に取り組む態度**の育成
「チャレンジ教室」「スタディルーム」と連携した補習学習の実施
- ④ICTの活用
- ⑤小中連携を生かした家庭学習習慣の定着
「家庭学習ノート」の活用

豊かな心の育成

- ①人権尊重教育の推進
- ②道徳教育全体計画に基づく道徳教育の推進と地域との連携による「道徳授業地区公開講座」(主題:「郷土愛」)の実施。「立川市民科」と連携した「道徳」の授業の公開と意見交換会の実施
- ③社会性の育成
自ら危険を予測し回避する力の育成
体験的な内容等を取り入れた「防災訓練」「薬物乱用防止教室」等における安全指導の充実。ネット等に関する「生徒自身によるルール作り」を全学級で行う「セーフティ教室」の実施
- ④規律ある学校生活の重視
「いじめ防止対策委員会」を中心にしたいじめ問題の未然防止と組織的対応
- ⑤読書活動の充実
朝読書の実施、「ビブリオバトル」への参加、学校図書館協力員、学校図書館支援指導員との連携による学校図書館の環境充実
- ⑥生徒の自治活動の推進と充実、自己肯定感の育成。生徒会・委員会活動による主体的な挨拶運動、地域清掃活動等の推進

研究・研修の推進と充実・体力の向上

- ◇「持久力」の向上
「立川市教育力向上推進モデル校」としての研究を踏まえた「体力向上につながる教育活動の工夫」の実践推進
- ◇オリンピック・パラリンピックへの関心を高め親しむ機会とする
- ◇食物アレルギーや熱中症対策の啓蒙
- ◇立川スタンダード2.0 ver 3の活用と推進

特別支援教育の推進・学校運営の充実

- ◇特別支援教育コーディネーター、個別指導計画、学校生活支援シート等の有効活用。SC、支援員等との連携
- ◇適応指導教室たまたがわとの連携
- ◇六中プラスとの連携
- ◇SC、SSW、ホームページからの情報発信
- ◇働き方改革の推進
- ◇学習の環境整備
- スプリングスペースの活用**

小中連携教育の推進と充実

- ①校区連絡会等を中心に、CSを踏まえた**9年間の学びの連続性や行事でのさらなる連携**と充実
- ②生徒会を中心に生徒主体とする地域清掃活動、あいさつ運動、紹介、部活動体験の推進と充実
- ③校区2校の小学生の六中の授業・部活動体験(選択交流授業)の推進と充実
- ④「立川市民科」の内容連携

市民力の活用

- (ネットワーク型の学校経営の充実)
- ◇コミュニティスクールの推進と活用
 - ◇「立川めぐり」「職場体験」(2年)の工夫推進と充実。地域の事業所との連携による「職場体験」の推進と事前、事後指導を活かしたキャリア教育の充実

【目指す教師像】生徒、保護者、地域から信頼される教師

「教育は人なり」⇒「最大の教育環境は教師である」
教師力の向上に努め、信頼される教師になる

- ①ダイヤモンドの原石である生徒の個性や特性や良さを認め、愛情をもって育てることのできる教師
- ②生徒の力を引き出し、学習・言語環境を整え肯定的な評価で伸ばすことのできる教師
- ③自ら資質・能力の向上に努める教師
- ④保護者、地域と連携・協力する教師
- ⑤教育公務員の使命を踏まえ学校組織の一員として貢献する教師

【教員の人材育成についての方針】若手教員の活躍できる場をつくる中で若手教員を育成する

主任・主幹教諭が中心となり、教員の経験や能力・職層に応じた「OJT計画」はじめ「若手教員研修」を組織的に推進することを通して人材育成に努める。

【組織的課題解決能力の向上についての方針】確実な「進行管理」と「学校評価」の実行が重点

分掌等の職務の責任の明確化を一層図るとともに、分掌等のラインを明確にすることで、「報告・連絡・相談」の徹底を図り、P(計画)D(実施)C(検証)A(改善)のサイクルを活かし、経営会議における自校の教育課題の検討、運営委員会における確実な進行管理を行い、毎回の事業ごとの学校評価の徹底を図り、その都度、改善計画を盛り込んだ《改訂版》を提示するまでをやりきる。